



高専制度創設 60 周年記念

～社会実装×高専生で新たな価値を創る～

第11回 社会実装教育フォーラム

日時：2023年 3月3日(金)～4日(土)

会場：東京工業高等専門学校

主催：東京工業高等専門学校

協力(予定)：一関工業高等専門学校、小山工業高等専門学校、長野工業高等専門学校

後援(予定)：東京高専技術懇談会、八王子商工会議所、相模原商工会議所

【社会実装教育フォーラム開催要項(令和4年度)】

11 回目の開催となる本年度の社会実装教育フォーラムは、学生の皆さんの挑戦意欲と努力の成果を存分に発揮いただくコンテストを集合形式(対面)で開催します。毎回多彩なテーマで研究を重ねている学生の皆さんにとって、会場で直接審査員からご指導いただくことや他高専の学生との交流は、今後の財産となることでしょう。

また、本校に設置になります「社会実装教育研究センター」と本校及び北九州高専が拠点校となり進めている高専発!「Society 5.0 型未来技術人財」育成事業 COMPASS 5.0 ロボット分野について、ご紹介するイベントを開催予定です(詳細は、参加登録用紙をご提出いただいたチームの指導教員の皆様に後日ご案内申し上げます。学生の方皆さんもご参加いただけます。)

コンテスト募集分野

本フォーラムでは、以下の9つのいずれかの分野において、『具体的な社会課題を解決するために、モノ・コトづくりを行い、試作したものを実社会へ実装した試み』についての発表を募集します。

◆◆◆ テーマ分野 ◆◆◆

- | | |
|----------------|-------|
| ①建設・社会インフラ | ⑥教育支援 |
| ②設備システム・防災システム | ⑦サービス |
| ③食品・農業 | ⑧ロボット |
| ④医療・福祉 | ⑨その他 |
| ⑤地域活性化 | |

上記の要件を満たせば、卒研や授業で取り組んだ内容でも構いません。

コンテスト実施方法

今年度のフォーラムは、原則として対面発表形式で実施します※。

- ・1日目のファーストステージでは、全てのチームがショートオーラルとポスターで発表を行います。
- ・2日目のファイナルステージは、ファーストステージから選抜された8チームがオーラル発表を行います。

※現地参加が難しい場合、一部ビデオ通話型での発表も検討しています。詳しくは「その他」をご覧ください。

コンテスト参加条件

- (1) 国公立高専の本科生・専攻科生
- (2) 1チームの構成は、学生と指導教員
※学生数は1名からでも可
※同一学生の複数チームへの参加は不可

表彰

- ・最優秀社会実装賞^{※1}
- ・優秀社会実装賞^{※1}
- ・三菱電機ロボット技術賞^{※1}
- ・安川電機賞^{※1}
- ・構想賞^{※2}
- ・社会インフラ現場実装賞^{※3}

※1 ファイナルステージより選出

※2 ファーストステージより選出

※3 建設・社会インフラ分野テーマから選出

その他多数の賞を準備しています。

コンテスト発表申込締切

2022年10月31日（月）17時

建設・社会インフラ分野の取組について

建設・社会インフラ分野は「建設現場実装プロジェクト」を設けています。このプロジェクトは、高等専門学校と建設・社会インフラ企業等が協力して一緒に技術開発を進めていくことを指向しています。特に優れたアイデアや工夫を発掘し、実用化に向けた開発が進められるよう、国土交通省が設置する「建設現場実装プロジェクト支援委員会」と連携しています。

「建設現場実装プロジェクト」に申請することにより、要望に応じて、協働できそうな企業とのマッチングが相談でき、その企業から支援を受けることも期待できます。また社会インフラ現場実装賞に選出・表彰された場合は、上記委員会より一般財団法人先端建設技術センターの研究開発助成への推薦が得られます。

((一財)先端建設技術センターHP: 研究開発助成 URL: <https://www.actec.or.jp/support/>)

建設・社会インフラ分野で募集するテーマは、「その他」の(3)をご確認ください。

提出方法・問合せ先

所定の「社会実装教育フォーラム参加登録用紙」に必要事項を記入し、以下事務局宛 E-mail にて提出してください。

東京工業高等専門学校総務課
社会実装教育フォーラム事務局
〒193-0997 八王子市櫛田町 1220-2
E-mail sieforum@tokyo-ct.ac.jp
TEL 042-668-5133、5247

その他

- (1) ビデオ通話型とはポスターの横に PC を設置し、Microsoft Teams を使ったビデオ通話で発表、質疑応答をして頂く方法です。ビデオ通話型をご希望の場合、10月14日（金）17時までにメールにてご相談ください。ただし、現地設置数に限りがありますので必ず対応できるものではありません。
- (2) 学校管理下以外での活動をする場合には、保険加入等必要な対策をご確認ください。
- (3) 「建設現場実装プロジェクト」の支援を希望の場合は「支援申請書（参加登録用紙下部）」を併せて提出してください。尚、募集テーマは以下に掲げるもの、その他の先端建設技術に関する調査、開発及び普及になります。
 - イ 建設事業に係る施工の自動化、合理化、効率化及び材料等の利用に関するもの
 - ロ 建設事業に係る副産物の利用及び処理並びに環境の保全、改善等に関するもの
 - ハ 建設事業に係る施工計画、施工方法、マネジメントシステム等に関するもの
 - ニ 建設事業に係る異分野技術の活用に関わるもの
 - ホ 災害対策に関わるもの
 - ヘ 地下、海洋等における建設事業に関するもの
- (4) 本フォーラムの様子をご覧頂けるよう定点カメラによる Microsoft Teams のライブ配信を検討しています。詳細は後日 HP 等でご案内致します。
- (5) 過去のフォーラムについて東京高専 HP からご覧いただけます。
 - ・広報誌「社会実装教育」
R1～R3 年度までの結果、成果を掲載
 - ・アニュアルレポート
https://www.tokyo-ct.ac.jp/school_summary/sieforum/

